

経営比較分析表（平成29年度決算）

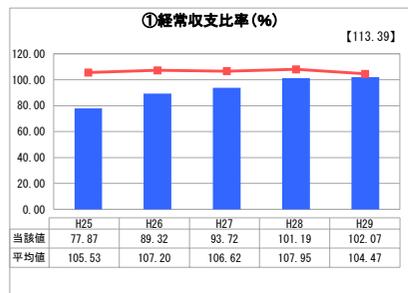
福島県 浅川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	70.89	98.80	3,510	

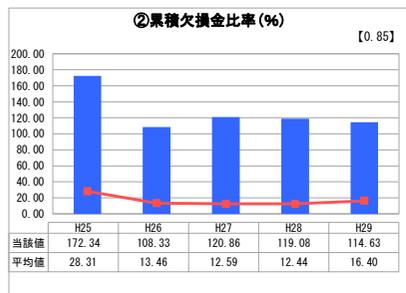
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,559	37.43	175.23
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,243	36.50	171.04

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

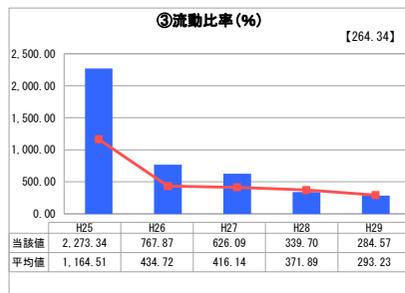
1. 経営の健全性・効率性



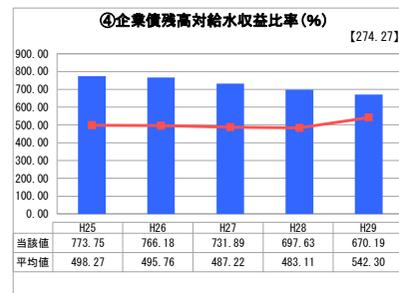
「経常損益」



「累積欠損」



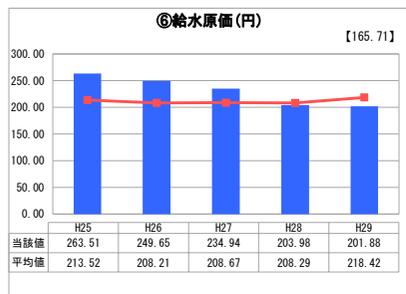
「支払能力」



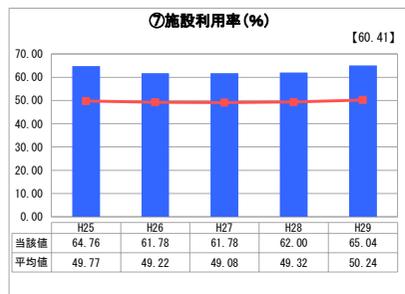
「債務残高」



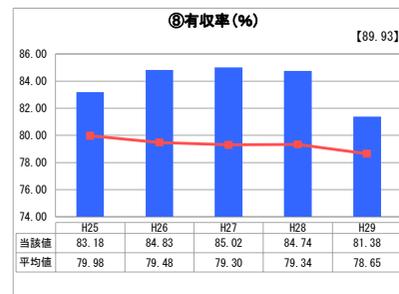
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

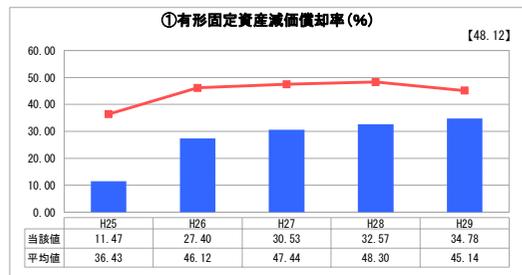


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

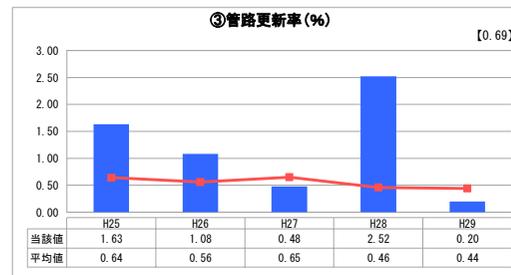
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は昨年度に引き続き100%を超えているが、平均値より低いため更なる健全な経営を行う。
- ② 累積欠損金比率は依然として高い数値となっている。経費削減及び収入の安定化を図る。
- ③ 流動比率は、100%以上であるが年々減少しており現金残高に注意する必要がある。
- ④ 類似団体平均値と比べて高い。企業債に頼りすぎない経営を行う必要がある。
- ⑤ 全国平均より低いが上昇傾向であるため、これからも料金回収率の向上に努める。
- ⑥ 減少傾向である。効率的に施設を運用し経常経費の削減に努める。
- ⑦ 平均値を上回っている。上昇傾向であり利用状況は良好である。
- ⑧ 漏水調査等を実施し、有収率の向上対策を講ずる必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は平均値より低い数値となっているが、更新時期を迎える施設もあり修繕等により長寿命化を図るとともに、経営状況を見ながら設備更新等を行う。
- ② 管路経年化率は平均値より高い状況であるため、計画的に管路の更新を行う必要がある。
- ③ 耐震化等も含め管路更新を行ってほしい。なお、管路更新等の工事を実施する際には、道路工事と同時施工を行うなど経費の削減を図る。

全体総括

給水人口の減少に伴い給水収益が減少しているため、経費の削減に努め料金改定も検討しながら経営を行う必要がある。管路については石綿管等の老朽管も残っており、漏水調査等も実施しながら管路の更新を計画的に実施する。施設更新や統廃合を含め今後どうしていくかを見直し、安全・安心な水道水の供給に努め、水道事業経営の健全化、効率化を目指していきたい。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。